

抗 議 の 要 請 文

11月21日の原子力潜水艦の横須賀入港に強く抗議する。横須賀は、原子力潜水艦の母港ではない。原子力潜水艦キー・ウエストはただちに横須賀港から出て行くこと強く要求する。

米海軍第7艦隊司令官 フィリップス・ソーヤー中将 殿
在日米海軍司令官 グレゴリー・フェントン少将 殿
米海軍横須賀基地司令官 ジェフリー・キム大佐 殿

神奈川県労働組合総連合
新日本婦人の会神奈川県本部
神奈川県商工団体連合会
神奈川県平和委員会
安保廃棄神奈川県統一促進会議
原子力空母の母港化を阻止する三浦半島連絡会
原水爆禁止神奈川県協議会

11月21日午前10時36分、ロサンゼルス級原子力潜水艦キー・ウエストが横須賀基地に入港した。今年の原子力潜水艦の入港は12回目、原子力艦船の入港は14回目で、通算952回となった。

現在、北東アジア、とりわけ北朝鮮をめぐる情勢は、北朝鮮による核開発や弾道ミサイルの発射、日米韓による空母3隻が出動しての共同演習など非常に緊迫している。私たちは、北朝鮮の暴挙に対して厳しく抗議する。同時に、日米韓による北朝鮮を威嚇する軍事行動にも反対する。この問題の解決は、国連安保理決議が述べているように外交的解決しかない。そのためには、軍事一辺倒の圧力強化では打開できない。経済制裁の全面実施・強化を進める目的は対話実現にある。関係国が北朝鮮との対話・外交交渉に踏み切り、その中で核開発やミサイル発射を止め、その放棄を迫ることが肝要である。

この間の朝鮮半島近海・日本海で日米韓が参加し空母3隻による北朝鮮を軍事的に脅迫・牽制する軍事演習は、東アジアの緊張をいっそう強めるものである。

このような中での原子力潜水艦キー・ウエストの横須賀入港は、その一連の軍事行動の中の入港と考えられる。横須賀基地を軍事拠点にするこのような軍事行動は直ちにやめるべきであり、原潜キー・ウエストの横須賀入港に強く抗議する。

米原潜の核兵器搭載、核持ち込みの疑惑も払拭されていない。非核三原則を国是とする日本の港に核兵器を持ち込むことは絶対に許されない。米艦船は核兵器を積んでいないことを証明するとともに、核密約はただちに破棄することを要求する。

現在、首都圏は巨大地震発生の可能性が強まり発生時の原子力艦船の原子炉事故の可能性は増大している。米軍は、地震や津波などの原子力艦船の事故対策をともに講じようとしていない。あらためて原子力艦船の事故対策を明らかにし、情報を公開することを要求する。

横須賀基地を戦争の出撃拠点にし、市民を放射能被害の危険にさらす原子力艦船の母港化、入出港はただちにやめること。原潜キー・ウエストは直ちに横須賀から出て行くことを強く要求する。

以 上